

# Desert Wind

(No.28 3月号)

LVJCC 牧師: 鶴田健次

## 『聖書は確かな人生地図』

車で旅をする人にとって、『道路地図』は必需品です。そのおかげで自分の行きたい所間違わずに行くことが出来ます。人生という旅路にも、地図のようなものがあればどんなに便利でしょう。目的地に向かって間違わずに生きていくための『人生地図』があれば、誰もが横道にそれることもありません。たとえ間違った道を選んで人生に迷っても、この『人生地図』を見れば、自分の居場所が分かり、どこで迷ってしまったのか、どこに向かって進めば目的地にたどり着けるかが分かるのです。

そういう意味で、昔から、聖書は私たちの『人生地図』と言われてきました。どんな人生の迷いにも答えを与え、どんな所で迷っている人にも人生の再出発を導き、目的地を示してくれる、それが聖書です。皆さんは、確かな目的地を知って、そこに向かって生きておられますか？ あなたの人生の最後には希望がありますか？ もしこの質問に確かな答えをお持ちでなければ、聖書という『人生地図』を用いて、あなたの人生を確かなものにされては如何でしょう。

聖書は、まず第一に、不変の書物です。マタイ 24:35 には、キリストの言葉、聖書の言葉は不滅であり、不変であると書いてありますが、聖書が不変である理由は、それが神の言葉だからです。「聖書はすべて、神の靈感によって書かれた」ものです。その証拠に、聖書 66 巻は、1600 年間の間に、約 40 人の人々によって、互いに連絡を取り合うこともなく書かれたものですが、その内容には一貫性があり、まるで一人の人が書いたかのような調和があります。また聖書預言的中率が 100% であることも、聖書が神の言葉であることの証拠です。さらに聖書が不変である理由は、印刷術が発明されて以来、何百年もの間、“ペストセラー”の座を維持しています。ちなみに、1935 年の統計では、聖書は既に年間 2 億 5 千万冊も発行され、1996 年には年間 5 億 3 千万冊が発

行され、もちろん今では、それ以上の聖書が、毎年、発行されています。また、聖書ほど長年に渡って外からの攻撃を受け続けてきた書物はありませんが、これまで聖書の一点一画すらも崩されたことはありません。これはまさに聖書の完全性を証明するものです。

第二に、聖書はこの世の将来を知っている書物です。マタイ 24 章の初めのほうで、弟子達がイエス様に、イエス様の再臨やこの世の終わりにはどういう前兆があるかを尋ねると、イエス様は、その時に世界で起こる出来事について教えられました。そして 32、33 節では、イチジクの枝が柔らかになり、葉が出るようになると、夏の近いことがわかるように、そういう出来事が起こるのを見たならば、この世の終わりの時が近い事を知りなさいと言われたのです。つまりイエス様の言葉である聖書は、この世の将来を知っているのです。だからこそ人生地図の役割を果たせるのです。以前に「不確実性の時代」という言葉が流行したことがあります。この世にあるものは確実なものではなく、常に変化し、常に変動していくものです。しかし、神の言葉は、この世の将来を確実に予告し、その上で、人類が救われるための確実な情報を提供するのです。

第三に、聖書は確かな人生地図です。それは数千年に渡って、多くの人に命を与え、道を示し、励ましを与えてきました。そして、多くの偉人たちが、口をそろえて、聖書の素晴らしさを称えています。たとえば、イギリスの首相であったグラッドストーンは、「私はこの時代に、偉人と呼ばれる 95 人の人を知っている。うち 87 人は、聖書を奉ずる人であった。」と言いました。また、アブラハム・リンカーンは、「聖書は、神が人間に下さった最高のギフトである。」と言い、インド独立の父と言われたマハトマ・ガンジーは、「私の生涯に最も深い影響を与えた書物は聖書である。」と言いました。またアメリカ初代大統領のジョージ・ワシントンは、「神と聖書なしに、この世を正しく統治することは不可能である。」と言っています。どうぞ、あなたも、もう一度、この聖書という確かな人生地図を通して、ご自分の進むべき道をより確実なものにして下さい。

### DREAMS COME TRUE

- ✦ 教会堂の建設
- ✦ 敬老ホームの設立
- ✦ 幼稚園の設立

### お祈りのリクエスト

日本の家族の救いのために  
聖書通読マラソンのために  
入門者クラスのために  
英語部の働きのために  
小さな子供を持つお母さん方のクラスのために  
(香織姉担当)  
倉田一徳さんの脳腫瘍の癒しのために  
神崎先生の目の癒しのために  
新井雅之兄の脳内出血の後遺症のリハビリと癌治療のために  
病の方の癒しのために

Desert Wind では 1400 字程度のお証、また質問を募集しています。ご意見・質問等何でもどうぞ。  
lvjccnews@hotmail.com  
編集: 真子ガーディナー 松岡みどり



証し: サリー クラフト

### 私の半生と神様

私は 1933 年 1 月 1 日に、朝日と共に東京の亀戸に生まれました。父四十二歳、母二十四歳のときでした。父親は特に私を大変可愛がってくれて、父の愛情をたっぷり浴びながら育ちました。その父親は、私が六歳の時に亡くなりました。わがままいっぱい育てられた私には、父親のいない世界は子供心にも苦しみ以上の何ものでもありませんでした。それほど父親が大好きでした。この世の全てを呪い、父親が恋しくて毎日泣き暮らしました。

大東亜戦争が始まり一年一年と激しくなり、1945 年終戦の年の 3 月 10 日に東京の大空襲に遭い、生と死の間を一中夜さ迷い、火の粉の中で夢うつつに「眠ってはいけない」と言う声が聞こえてきました。私は夢中で、「神様、助けて」と叫びました。それから二日間意識が無く、気がついたときには小学校の講堂で母親と一緒にいました。手足はひどい火傷で、治るまで 2 年かかりました。私はそのとき、助かったのは神の導きとだ思いました。この初めて出会った神様をそれ以降探し回り、神仏を捜し求めましたけど、なかなか逢うことが出来ませんでした。

19 歳の時、主人と職場で出会い結婚しようとしたけど、彼の母親に、若すぎるからという理由で反対され、21 歳まで待とうと二人で決めました。信仰深い彼は、横田基地の教会に私を連れて行き、二人で将来を誓い合い、別れて、彼はアメリカに帰されました。そして私たちは、彼 21 歳、私が 22 歳の秋に結婚して、1956 年アメリカに渡りました。1959 年にフロリダ州で長男が授かり、天にも昇るくらい喜びに浸りました。でも、生まれた赤ちゃんは、まるでこの世の罪を全部背負っているかのように、身体中にアレルギーが出て、かゆくてかゆくて掻きまくり、毎日全身血だらけでした。泣きさわく彼を一晚中抱きながら、何で私だけがこんな苦しみに合わなければならないのか「神様、私の赤ちゃんを助けて」、と泣きながら祈りました。祈っている間に

気が付いたのです、これは多分神様が私に与えた試練ではないかと。その後私と主人はニュージャージー州に行き、彼の両親の教会で長男に洗礼を受けさせました。私は祈りました。「どうぞ、神様、この子があなたを信じ、神と共に成長しますように」と。長男はアレルギーに加え、色々な病気で生死をさまよいましたけど、彼の側にはいつも神様がいて守っておりました。それから、長女と次男にも恵まれました。私の主人は 1993 年、子供達の祈りの中で天国に召されました。

現在私は、長い間探し求めていた神様と会い、ラスベガス日本人教会で洗礼を受けて、正式にクリスチャンになりました。ですが、嫉妬深い心、人の目を 1 日中気にする心、すぐ誘惑のとりこになってしまうことなど、今までの自分が持っていた罪に悩まされて、常に罪悪感を感じていました。そこから抜け出そうと努力をすればするほど悩みは深まるばかりです。このような感情に支配されている自分を見て、私は自分がいかに弱い存在であるのかということがわかりました。私は自信過剰な心や余計なプライドを投げ捨てて、ピリピ 2:3 の御言葉にある「何事も党派心や虚栄からするのではなく、へりくだった心をもって互いに人を自分よりすぐれた者としなさい」、というこの御言葉を心に刻み付けて、毎日神様に祈り続けました。いつしか願いは聞き届けられ、200 もあった血圧が下がり、今の私の心は平和に満ち、神に愛されている喜びであふれています。

これから一生をかけて聖書をもっともっと勉強して、十字架の福音を伝え、一人でも多くの人たちが永遠の滅びから救われ永遠の命を得られるように、また、神様の愛が如何に深いかを伝えて行きたいと思っています。私もまた霊的成長をしていきたいと思っています。

天の神様、あなたの栄光をほめたたえます。私の残りの人生を、どうぞあなたの御心のままに用いて下さい。イエス・キリストの父なる神様、今日も誠実にあなたの御前を歩むことが出来ますように。主、イエス・キリストの御名によりお祈りします。アーメン



### 編集部から

冬の寒さが和らぎ、春の兆しを感じられる季節になりました。3月8日には夏時間も始まり、夕方でも散歩が楽しめますね。さて、今年から始まった聖書通読マラソン、皆さんの進み具合はいかがでしょう？ たまには公園など屋外での読書も良いかもしれません。

先月のお好み焼き会は 68 人参加と最多記録でした。素晴らしい交わりと、良い伝道ができた事を感謝します。また、由希姉による料理教室も大好評でした。その上、先月から入門者クラスを受ける方々が増えたことなど、主であって恵まれたひと月でした。

今日はフラメンコギターコンサート、頼姉による料理教室と朗読セミナーもあり、充実した月になりました。これからのイベントも、主の豊かな御愛の中にありますように。

